或は芽立の毛), アカヤシホ(花), アカナス(果), アカエンドウ(花と種皮)などは耳にはよいが說明には不足する。一方アカジクー, アカゲー, アカバー, アカミヤクーなどはまことに響きが悪い。新らしい名をつける時に音韻上の優秀と說明上の滿足との間の調節は存外にむづかしいものであることを痛感する。

○支那產のハクチヨウゲ(久內淸孝)

最近林業試驗場の林彌榮氏が同試驗場內で一種のハクチヨウゲを見出された。これは Handel-Mazzetti が *Serissa serissoides* Druce として Symbolae Sinicae で扱はれたもので, 從來 *S. Democritea* Baill. の名で知られ, また Plantae Wilsoniae Vol. III に *Leptodermis nervosa* Hutchinson として當時新しく記載されたものである。一見, 我國のシチヨウゲの樣に見えるが, 柱頭は二叉し, 萼裂片は披針形で約3mm 邊緣に睫毛がある。和名は無い樣であるが都內に進出する樣になると和名が入用になる。

○Moricandia を橫濱でとる(久內淸孝)

余は橫濱市山手町で一種の *Moricandia* を得た(27 VII, 1945)。そうして, それは *M. arvensis* DC. であると考える。從來中國各地から知られて居る *Orchophragmus violascens* O. E. Schulz (=*M. sonchifolia* Hook.) オホアラセイトウとは別のもので, 歐洲原產のものと思ふ。莖葉は廣楕圓狀で抱莖脚, 殆んど全緣又は粗齒緣, 葉身は長さ 2–18cm. 幅 2–7.5cm. 兩面無毛, 下面帶白色。花は紅。角果方形長さ約 9.5cm 先端は方形を呈せず嘴狀, 嘴狀部の長さ約 2cm。種子は汚褐色, やゝ柱狀, 長さ 2mm (角果の方形を呈するは, 各心皮が弧狀を呈せず, 其中肋を境として各半が直角に近く彎曲し, 各心皮の中肋と, 兩癒合緣とで四稜を現すによる。果實裂開に際しては嘴狀部を殘し, 心皮のみ離脫す, 故に嘴狀部は兩癒合緣のみにより構成せらる, 當然のことながら附記す)。和名は未だなきものゝ如し。依て屬名に名を殘したる S. Moricand を記念して, モリカンドソウとするか, 又は同氏の國籍に因みイタリアソウとでもしたらよいと思ふがいかゞでしよう。實物は東京科學博物館の腊葉室にをく。

和名を有する近緣のものとしては, 中井博士が植物學雜誌 37 (1923) p. 69 で, 朝鮮のものに與えたオホアラウセイトウがある(北川博士は滿洲國植物考にハナダイコン, ハナスヾシロを併記されたが, この二名は植物名彙によれば *Hesperis matronalis* Linn の名であるから, 同一物であることが證明されない限り用ひたくない)が, 今余がこゝで紹介するものは, 出來ることなら, 他屬と混同されない樣な名が欲いので, 叙上の樣な新名を考へたのである。

○ウスイロヤクシサウ(新品種)(津山尙)

1945 年 11 月 15 日, 武州天覽山に於て資源科學硏究所植物學部の一行が採集を試みた際, 頂上附近に於てヤクシサウの花色が極淡黃色で, あだかもアキノノゲシのそれの如きものを二株發見した。その時一行中の籾山泰一氏とはかり, forma *pallescens*